



明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第88号 平成22年2月発行

○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



大洞地域 大洞の里山をつくろう会 !!

- ・活動計画づくりに向けて現地視察 (1月30日)
- ・徐々に森の様子が変化して・・・(2月13日)

○活動計画づくりに向けて現地視察

1月30日に、「大洞の里山つくろう会」の役員と、現地の自然環境調査を行っている岐阜大学の肥後教授が、湿地を取り巻く樹林域一帯の現地視察を行いました。

この視察は、来年度から本格的に林内散策路整備に取り掛かることに伴い、散策路整備計画を具体化することを目的に行いました。

冬枯れの林内を歩いていくと、外から見ているだけではわからない、変化に富んだ地形や日の差し込み具合、地形と日照条件の違いにともなう植物相の違いなどがよくわかりました。

そんな森の様子を見ながら歩いていくと、参加者から様々なアイデアが飛び出し、今後の活動に向けて大きく夢が膨らむ視察となりました。



岐阜大学の肥後先生と一緒に現地を散策



この森をどう楽しむか現地を歩いて考えました



地域のシンボル 硯石に到着!!!





大洞の里山をつくろう会の皆さんが、これからどのような里山を作り上げていくのか、本当に楽しみです。地域住民の憩いの場になればいいですね。

○徐々に

森の様子が変わって・・・

1月の現地視察を経て、2月13日に整備活動を実施しました。この日は25名が参加をして、湿地周辺の耕作放棄地を集会広場に整備する活動に取りかかりました。

参加者の多くは子どもの頃、毎日のように野山で遊んできた大ベテランたち！！ 活動をする中で昔の感覚がよみがえってきたのか、参加者一同ものすごく楽しそうです！ また、作業をしながら「この伐採木でシイタケをつくろう！」、「段々畑の地形が舞台みたいだから里山コンサートをやろう！」、「炭焼はやれないか」等々、次々に魅力的なアイデアが飛び出してきました。そうして1時間半の後には、ボサボサの藪だった耕作放棄地が、これからの活動拠点となる集会広場へと姿を変えました。

地域で力を合わせて取り組めば、荒れ果てた藪をいきいきとした里山に変えることも難しいことではないと実感させられた活動でした。今後、里山つくろう会の皆さんはこの地を拠点にして、どのように楽しみを広げていくのでしょうか！

○おわりに

芥見東地区の皆さんの様々な夢が詰まった里山づくりがいよいよ本格的に始まりました。この活動を通して地域が元気になり、気が付けば自然も元気になっていた、というような活動になりそうですね。これからが楽しみです！！



1月の現地視察において、確認を行った計画に従って、伐採整備活動を行いました。みんなの力を合わせて、広い空間を作り上げることができました。



岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ

岐阜市 自然共生部 自然環境課 担当：吉村

TEL：058-265-4141（内線：6451） FAX：058-267-1374

E-mail：shizen@city.gifu.gifu.jp

岐阜市の自然のポータルサイト「ぎふネイチャーネット」

<http://www.gifu-nature.net/>

自然環境課ホームページ：http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html